

# 市立ひらかた病院の取り組みについて

(令和6年度 上半期)

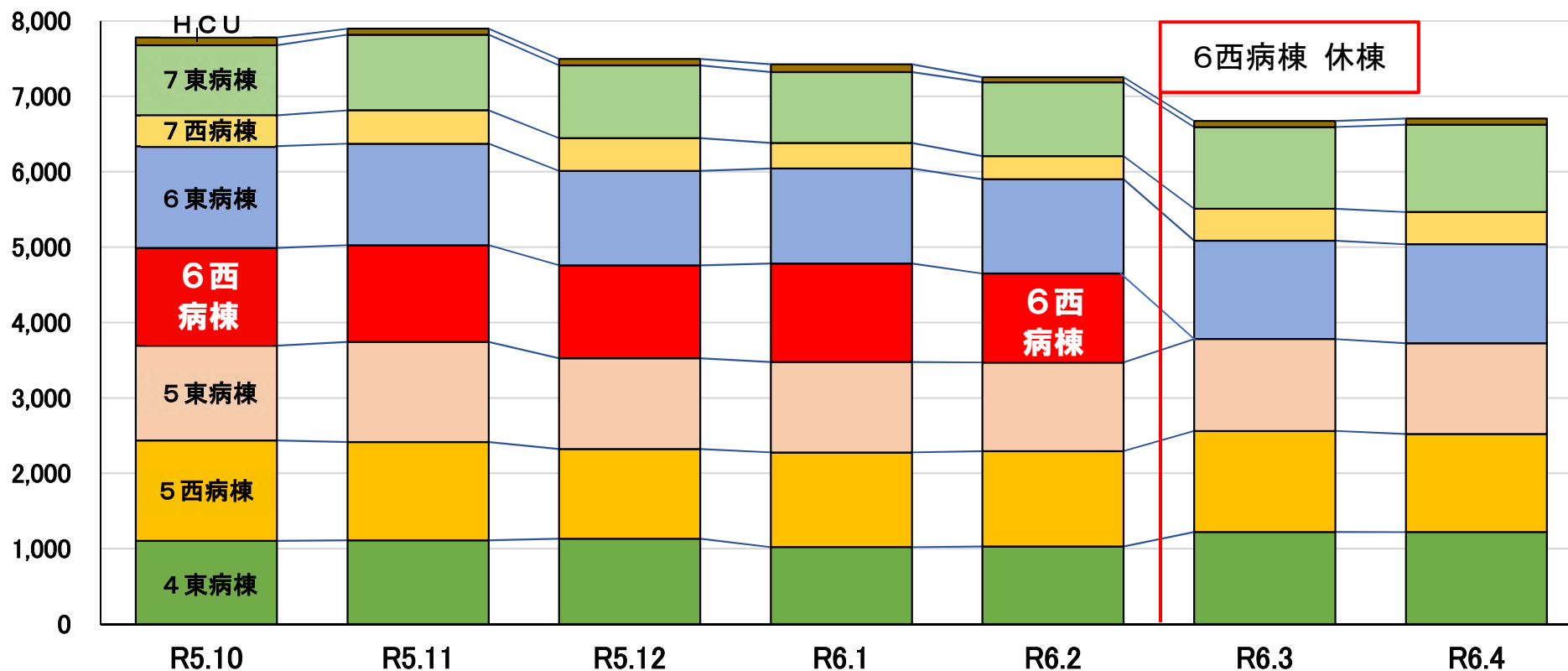


## 2病棟休棟による影響

新型コロナウイルス感染症患者に係る看護体制強化のために休棟した4階西病棟に続き、夜勤ができる看護師の不足により、やむを得ない措置として、本年3月1日から、6階西病棟を休棟しています。

このことによる影響は、次のとおりで、令和6年度(2024年度)は厳しいスタートとなっています。

### 入院患者数の推移(R5.10~R6.4)

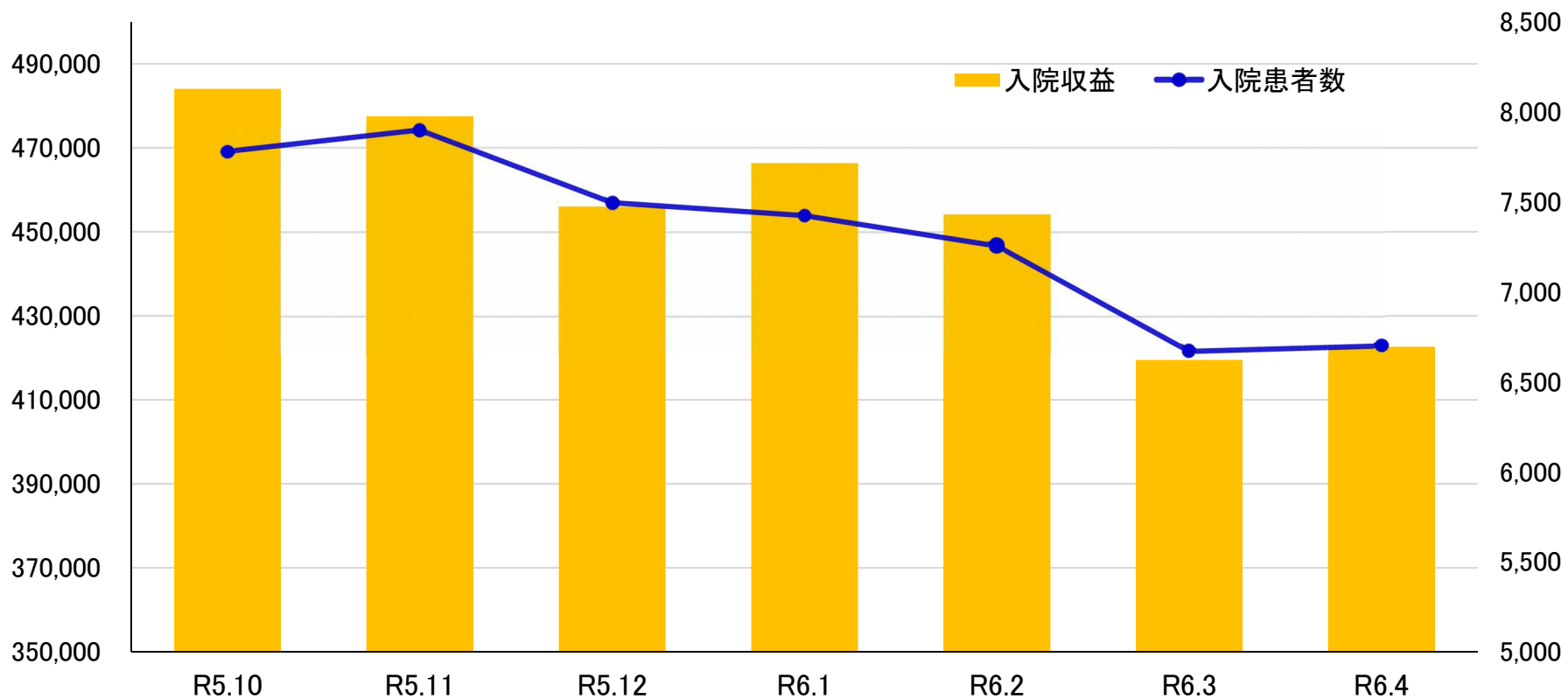


病床利用率	75.9% (84.7%)	80.2% (88.9%)	72.9% (81.7%)	72.0% (79.8%)	75.0% (83.4%)	64.8% (85.1%)	67.0% (89.4%)
入院患者数	7,779人	7,897人	7,495人	7,424人	7,255人	6,673人	6,704人

( )は稼働病床に対する率

## 入院収益の状況

入院患者数の減少に合わせ、入院収益も令和6年3月から大きく減少しています。

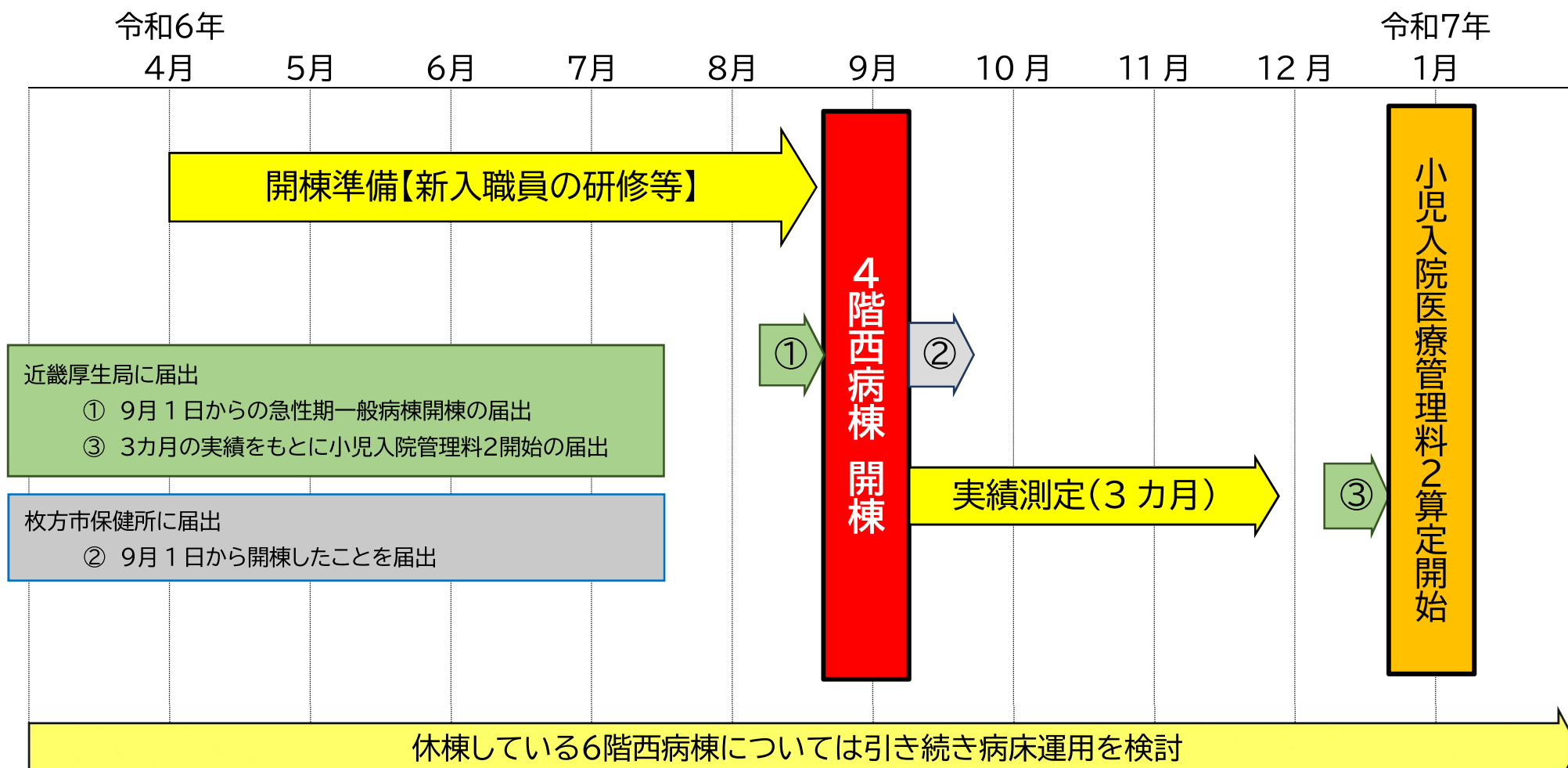


	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3	R6.4
入院収益(千円)	484,005	477,485	456,066	466,356	454,223	419,495	422,600
入院患者数(人)	7,779	7,897	7,495	7,424	7,255	6,673	6,704

# 病棟の開棟に向けて

現在、休棟する2つの病棟のうち、検討の結果、小児医療における本院の役割を果たしていくため、まずは4階西病棟(小児病棟)の速やかな開棟を目指すこととしました。

## 4階西病棟の開棟に向けたスケジュール(予定)



# 上半期(4階西病棟開棟までの間)の経営目標の設定

2病棟休棟に伴う経営への影響は避けられない状況ですが、これを最小限にとどめるため、以下の目標を本院のKPI(重要業績評価指標)として設定し、徹底を図っています。

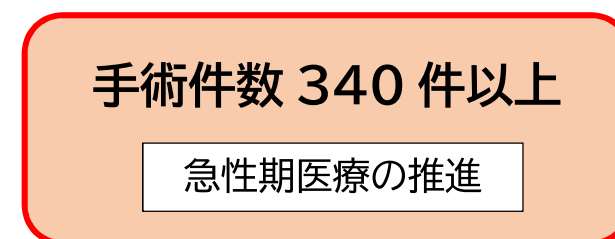
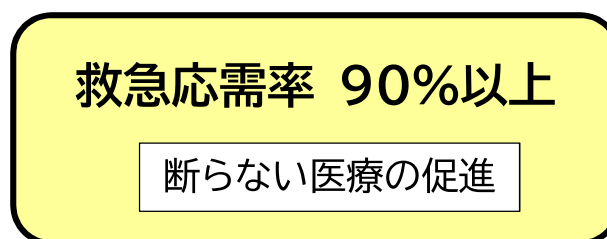
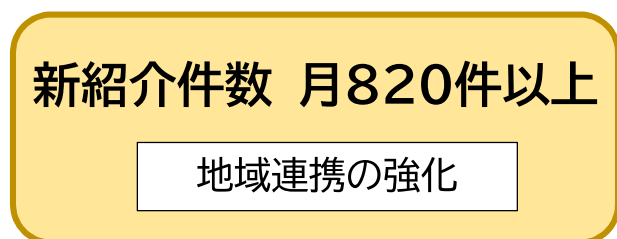
## 本院のKPI(重要業績評価指標)

地域の回復期病院・慢性期病院など後方支援病院との連携強化を図り、主として急性期の患者の治療を行うべく、入退院期間の適正化を図ることで、入院単価の向上にも繋がるものと考えています。

一方で、入退院期間適正化の促進を図ることを理由とした空きベッドが生じないよう、積極的な入院患者の受入れによる利用率向上にも合わせて取り組むことで、入院収益の向上を図ります。



## その他の数値目標 (KPI達成のための取組指標)



市立ひらかた病院

# Weather the Storm

～ 未来へ向けて 乗り越えよう ～

本院の 重要業績評価指標

## KPI

DPC期間II超え率  
**30%以下**

病床稼働率  
**93%以上**

取り組み目標

新紹介件数  
**月 820 件以上**

救急応需率  
**90%以上**

手術件数  
**月 340 件以上**



※ Weather the Storm: 困難(嵐)を乗り越える

2024  
上半期  
**柱のポスター**

急性期医療を提供する地域医療支援病院  
政策医療を提供する北河内唯一の市立病院

## 院内各所に掲示

(患者さんの目に触れる場所を除く)

職員が一丸となって同じ目標の達成に向けて  
取り組むよう、意識向上を図っています

# 1. 経営状況資料

## KPI と KPI 達成のための取組指標等 (令和6年度4月分)

「○」 達成

「●」 未達成

	指標	目標値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計値	
KPI	DPC期間Ⅱ 超え率	30%以下	27.2%												27.2%	
			○												○	
	稼働病床に対する稼働率	93% (235床)	88.3%												88.3%	
			200.9床												200.9床	
取組指標	新紹介件数	820件以上	938床												938床	
			○												○	
	救急応需率	90%以上	88.3%												88.3%	
			●												●	
	手術件数	340件以上	288床													288床
			●													●

内床稼働率	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計値
	66.7%												

# 人材確保及び人材育成

## 看護師の確保に向けた取り組み

病棟の開棟等、医療体制の確保には看護師をはじめとする人材の確保が不可欠であることから、これまでから積極的に人材確保に取り組んできました。

求人方法: 広報ひらかたへの掲載、ホームページへの掲載、有料求人サイトへの掲載、ハローワークへの登録  
求人活動: 専門学校等への訪問、病院見学会の実施、実習施設の受入れ(7校)、インターンシップ

これらに加え、今年度の募集にあたっては、現状に鑑み、以下の新たな取り組みを行っています。

看護局のPR動画を作成 YouTube に掲載



本院ホームページに看護局の特設ページを開設



看護学生を対象とした求人イベントへの参加



各所へのポスター・デジタルサイネージ等の掲示



Instagramによる看護局の活動のPR



内定者への“看護局だより”の送付や卒業生の現状報告

近隣の大学や専門学校等で開催される就職説明会への参加

遠方など他府県の学校へのアプローチ(案内送付など)

Zoom を利用した”お手軽 Web 面談”を実施

高校生を対象とした就職ガイダンスの実施

令和6年度からは、中断していた看護師修学資金貸与の募集も再開  
(令和6年度5月募集:2名の貸与を決定)

ただし、現状、必要な応募人員には至っていないことから更なる精力的な求人活動を行っていきます

## 人材育成の取り組み【看護師】

本院の職員となった看護師が、将来にわたって誇りとやりがいを持って働くことができるよう、必要な看護スキルに加え、看護を取り巻く社会環境の変化にも対応できる能力を身に付けられるよう、各種研修制度の充実を図っています。

### 教育研修

新人研修・継続教育・専門領域の学習に津からを注ぎ、スキルアップを目指して年間教育を立案し、教育体制の構築を図っている

### 新人看護師教育研修

「みんなで育てる」を大切に、プリセプター・エルダー制度を取り入れた体制による教育研修を実施

### 既卒者研修

自己のキャリアを活かしながら、既卒者指導要綱に沿った研修を実施

### クリニカルラダー

卒後2年目より対象。看護師一人ひとりが個々の目標を明確に設定し、臨床看護実践能力を高めるとともに自己のキャリアプランに向かって継続的に学び続けることができる研修制度

### 専門研修

#### 専門領域研修

各専門分野において幅広い知識や技術を習得し、的確な判断に基づいて確実な技術を実践できる看護師を育成する

- ・がん看護コース
- ・感染管理コース
- ・皮膚・排泄ケアコース
- ・救急看護コース
- ・手術看護コース
- ・がん薬物療法看護コース
- ・クリティカルケアコース

#### ICLS 研修

医療従事者のための蘇生トレーニングコース

#### NCPR 研修

新生児蘇生法講習会

### 特定行為研修

チーム医療の推進に向け看護師の役割を発揮するため、専門的な知識と技術が必要とされる特定行為（診療の補助）を行うことができる看護師の育成施設として、**2023年8月に厚生労働大臣から認定**



特定行為研修 入校式

## その他年間を通しての主な取り組み

### 診療報酬改定への対応

今年度の診療報酬改定が令和6年6月から実施されました。

必要な運用の変更や届出を適切に行うとともに、経営コンサルタントの助言を受けつつ、新たに取得できる加算はないかなど、内容についての精査・研究を重ね、必要な措置を講じます。

### DXの推進及び患者サービスの向上

令和6年度診療報酬改定により「医療DX推進体制加算」が新設されたことを踏まえ、マイナンバー保険証への移行を円滑にできるよう周辺環境の整備に努めるなど、院内のDX推進に積極的に取り組みます。

また、サイバーセキュリティ対策として、今年度はサイバー攻撃を想定した事業継続計画の策定や、部門ごとのマニュアルの整備など、さらなる実効性を伴ったセキュリティ強化に努めます。

このほか、患者さんアンケートの結果等を踏まえ、院内で定期的開催しているサービス向上委員会等で議論を重ね、患者サービスの向上に努めます。

### 10周年記念事業の開催・その他情報・魅力の積極的な発信

本年は新病院開院から10周年にあたるため、これを記念する事業を予定しており、現在、本院職員で構成する実行委員会を立ち上げ、多くの皆さんに楽しんでいただけるよう内容を検討しています。

このほか、病院ホームページや情報誌「かわせみ」、市民公開講座やオープンセミナー、くらわんかフォーラム等の行事を通じ、積極的に情報を発信していきます。

### 誇りとやりがいを持って働き続けられる職場作り

職員各々のスキルアップを目指せる職場環境づくりを推進するとともに、あらゆるハラスメントを許さない風通しの良い職場環境の醸成に努めます。